

梓川の石ころ標本

あずさ1



あずさ5



あずさ9



あずさ13



あずさ17



あずさ2



あずさ6



あずさ10



あずさ14



あずさ18



あずさ3



あずさ7



あずさ11



あずさ15



あずさ19



あずさ4



あずさ8



あずさ12



あずさ16



あずさ20



# 梓川の石ころ標本ラベル

<p><u>あずさ 1</u></p> <p>石の名前 <u>花こう閃緑岩</u></p> <p>石の区分 <u>深成岩</u></p> <p>石のとくちょう 花こう岩の仲間 花こう岩に比べると黒い粒（黒雲母や角閃石）がやや多い。</p>	<p><u>あずさ 5</u></p> <p>石の名前 <u>輝石安山岩</u></p> <p>石の区分 <u>火山岩</u></p> <p>石のとくちょう 灰色が基本だが赤味を帯びることがある。大きい白い粒（斜長石）と小さい粒がまじる（斑状組織の典型例）。黒い粒は輝石。</p>	<p><u>あずさ 9</u></p> <p>石の名前 <u>溶結凝灰岩</u></p> <p>石の区分 <u>堆積岩</u></p> <p>石のとくちょう 白い粒（斜長石）がとても多いけど、よく見ると黒っぽい凸レンズの断面のような模様（溶結レンズ）が見える。</p>	<p><u>あずさ 13</u></p> <p>石の名前 <u>礫岩</u></p> <p>石の区分 <u>堆積岩</u></p> <p>石のとくちょう 小石が集まってできている。</p>	<p><u>あずさ 17</u></p> <p>石の名前 <u>石灰岩</u></p> <p>石の区分 <u>堆積岩</u></p> <p>石のとくちょう 表面が粉っぽい。淡い灰色～灰色。やわらかい感じがする。かけらになった石灰岩が再びくっついている。</p>
<p><u>あずさ 2</u></p> <p>石の名前 <u>花こう岩</u></p> <p>石の区分 <u>深成岩</u></p> <p>石のとくちょう 大粒のごま塩状の岩石（等粒状組織の岩石の典型例）</p>	<p><u>あずさ 6</u></p> <p>石の名前 <u>角閃石安山岩</u></p> <p>石の区分 <u>火山岩</u></p> <p>石のとくちょう 輝石安山岩に比べるとやや白い。黒い短冊状のよく光る鉱物が角閃石。白い粒は斜長石。泥サイトと呼ばれることもある。</p>	<p><u>あずさ 10</u></p> <p>石の名前 <u>ホルンフェルス</u></p> <p>石の区分 <u>接触変成岩</u></p> <p>石のとくちょう 一見、泥岩のように見えるけど斑点がある。</p>	<p><u>あずさ 14</u></p> <p>石の名前 <u>砂岩を含む泥岩</u></p> <p>石の区分 <u>堆積岩</u></p> <p>石のとくちょう 砂岩の層（白っぽい部分）が変形している（一部ちぎれている）。</p>	<p><u>あずさ 18</u></p> <p>石の名前 <u>チャート</u></p> <p>石の区分 <u>堆積岩</u></p> <p>石のとくちょう スベスベしている。とても固い。ぬらすと少し透明な感じがする。赤っぽい。</p>
<p><u>あずさ 3</u></p> <p>石の名前 <u>花こう岩</u></p> <p>石の区分 <u>深成岩</u></p> <p>石のとくちょう 「あずさ 2」に比べると黒い粒（黒雲母）が少ない。</p>	<p><u>あずさ 7</u></p> <p>石の名前 <u>閃緑斑岩</u></p> <p>石の区分 <u>深成岩と火山岩の間</u></p> <p>石のとくちょう 白い大きな結晶（斜長石）が目立つ。安山岩に比べ緑っぽい部分（石基）が粗い。</p>	<p><u>あずさ 11</u></p> <p>石の名前 <u>泥岩（頁岩）</u></p> <p>石の区分 <u>堆積岩</u></p> <p>石のとくちょう 粒は見えない。つや消しブラック。泥が固まった岩石。</p>	<p><u>あずさ 15</u></p> <p>石の名前 <u>緑色岩<sup>（海底に噴出した玄武岩などをもとにした岩石）</sup></u></p> <p>石の区分 <u>変成岩</u></p> <p>石のとくちょう 緑色をしていることが多い。ずしりと重い感じがする。石灰岩のかけらを含むことがある。</p>	<p><u>あずさ 19</u></p> <p>石の名前 <u>チャート</u></p> <p>石の区分 <u>堆積岩</u></p> <p>石のとくちょう スベスベしている。とても固い。ぬらすと少し透明な感じがする。黒っぽい。</p>
<p><u>あずさ 4</u></p> <p>石の名前 <u>アプライト質花こう岩</u></p> <p>石の区分 <u>深成岩</u></p> <p>石のとくちょう 花こう岩の仲間 花こう岩に比べ黒い粒（黒雲母）が少ないので白っぽく、やや粒が細かい。</p>	<p><u>あずさ 8</u></p> <p>石の名前 <u>凝灰岩</u></p> <p>石の区分 <u>堆積岩</u></p> <p>石のとくちょう いろいろな種類（花崗岩やチャートなど）の角ばった石のかけらを含む。火山灰が固まった岩石。</p>	<p><u>あずさ 12</u></p> <p>石の名前 <u>砂岩</u></p> <p>石の区分 <u>堆積岩</u></p> <p>石のとくちょう よく見るとツブツブが見える。黒っぽい石（泥岩）のかけらが入ることもある。砂が固まった岩石。</p>	<p><u>あずさ 16</u></p> <p>石の名前 <u>緑色岩<sup>（海底に噴出した玄武岩などをもとにした岩石）</sup></u></p> <p>石の区分 <u>変成岩</u></p> <p>石のとくちょう 緑色をしていることが多い。ずしりと重い感じがする。</p>	<p><u>あずさ 20</u></p> <p>石の名前 <u>チャート</u></p> <p>石の区分 <u>堆積岩</u></p> <p>石のとくちょう スベスベしている。とても固い。ぬらすと少し透明な感じがする。白っぽい。</p>

# 梓川の石ころの特徴

砂岩や安山岩が多いので全体的に灰色っぽい。

火成岩として、花崗岩、花崗閃緑岩、安山岩が見られ、堆積岩として泥岩、砂岩、礫岩（少ない）、様々な色のチャート、石灰岩（とても少ない）があるので、中学校で学習する岩石をほとんど観察することができる。

梓川は北アルプス南部から流れてくるため、その河原には砂岩・泥岩やチャート、メランジュ、緑色岩といった付加体堆積物（約2.5億年前～1.5億年前）を起源とする礫（あずさ11～20）が多くみられる。石灰岩も付加体堆積物だが、北アルプス南部には少なく、白骨温泉付近にしか岩体が存在しないため、石灰岩の礫はとても少ない。

また、上流には乗鞍岳、焼岳といった新しい時代の火山（両火山とも活火山）があるので安山岩やデイサイトといった火山岩（角閃石や輝石を斑晶として含む斑状組織の火成岩）もふつうに見られる（あずさ5・6）。穂高連峰山頂部には、斑晶に富む溶結凝灰岩（穂高安山岩）が露出するため、そんなに多くないが、溶結凝灰岩もある（あずさ9）。

穂高連峰周辺や鉢伏山周辺には花こう岩（約1億年前～7千万年前）も露出するため、花崗岩もふつうに見られる。これらの花こう岩によって変成したホルンフェルス（接触変成岩の一種）もふつうに見られる。また世界で最も若い深成岩である滝谷花崗閃緑岩（約120万年前）も見られる。

# 梓川の河原



# 梓川の石ころ



# 梓川と北アルプス南部

蝶ヶ岳（雪を被った白い山）より南側の北アルプスには、砂岩や泥岩、チャート（付加体堆積物）が多い。写真の左奥の大きな谷が梓川。

蝶ヶ岳

安曇野市より



# 梓川と乗鞍岳

梓川の谷の奥に真っ白な乗鞍岳（噴火でできた安山岩の山）の山頂部がのぞく。



松本市より